

区分・種別	県指定史跡		
名称	こうさいきよ 仰西渠		
所在地	上浮穴郡久万高原町西明神		
所有者	久万高原町	管理団体	
指定年月日	昭和25年10月24日		
解説	<p> <small>こうさいきよ</small> 仰西渠は、江戸時代の明暦（1655～1658）から寛文年間（1661～1673）のころ<small>くまがわ</small>久万川の上流、<small>てんまるかわ</small>天丸川に沿って安山岩の岩盤を掘削して造られた用水路である。その長さ57m、幅2.2m、深さ1.5mで、川水を取り入れて下流の水田25ヘクタールを潤している。 </p> <p> 旧久万町村の商家山田屋の山之内彦左衛門<small>やまのうちひこざえもん</small>が私財を投じて掘ったもので、彦左衛門の号「仰西」<small>こうさい</small>にちなんで、水路を仰西<small>こうさい</small>渠と名づけた。 </p> <p> 当時の久万町村・入野村は用水源に乏しく、西明神村の天丸川に<small>せき</small>堰をもうけ<small>ひ</small>樋をつないで取水したが、破損しやすく経費と労力を空費していた。そこで彦左衛門は恒久策として水路の切り開きを計画し、石のみと樋だけで3か年かけて完成したという。多くの人を雇い、岩を砕いた石くず1升到米1升を交換して励ましたりして、工事のために私財をほとんど無くしたという。 </p> <p> 現地の丘に明治10（1877）年「仰西渠之碑」が建立され徳をたたえている。 </p>		

